

# A National Short Course in: Systems Biology, in UCI

## 参加体験記

2014年1月6日から25日、University of California, Irvine (UCI) 主催の“National Short Course in Systems Biology”に参加しました。真冬であるはずの季節ですが Irvine は常春です。主催者の Dr. Felix (写真中央) を初め参加者の多くはご覧のとおり半袖半ズボンで、常時（海辺でも）セミフォーマルな服装をしているのは私くらいでした。

さて、本題のセミナーについてです。2014年の参加者は学部生から教授(!)まで20名ほどで、多くは(留学生も含めて)米国から、他は中国から2人、南アフリカ、メキシコ、日本から1人ずつでした。コースは1週間の Preparatory-workshop と2週間の Core-course に分かれており、数学または生物学の必要な知見を Preparatory で学習した後 Core に望むというスタイルでした。私は Preparatory で数学を選択し、Mathematica と MATLAB をそれぞれ2日ずつ学習しました。Core では Mathematica を使う機会が多いので事前に触れておくことをお勧めします。(筑波大学生は無料で Mathematica のインストールができます。) Core は反応拡散方程式の理解に一コマを当てるなど、システム生物学の中でもやや数理よりであったと感じています。HBP では川村一宏先生の生物数学の講義があり、そこで学んだ微積分と線形代数がとても役に立ちました。生物学よりの領域では出芽酵母の細胞周期の数理モデルで有名な John Tyson 先生や、肺の器官形成を生化学および数理を統合したシグナル伝達モデルで解析した Celeste Nelson 先生など外部からの著名な先生方のご講義を拝聴することができました。このように色々な先生方から多様な研究内容を学べますので、自分の研究に活かせる分野を見つけたり、将来の留学先を考えたりと、本コースが大学院生活に利することは間違いありません。

まだまだお伝えしたいことはありますが、紙面の関係にて一先ず筆を置きます。ご質問等ございましたら下記のメールアドレスまで連絡をください。喜んで承ります。

久野 朗広

筑波大学 ヒューマンバイオロジー学位プログラム

2年

S1330535@u.tsukuba.ac.jp

